

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点１ 行政との連携や働きかけ

- ・ １０月に市教委より、教職員の働き方改革推進に係る取組についての保護者・地域に向けての文書と「学校の働き方改革プラン」を策定してもらい各校でHPへ掲載。また、保護者への協力をお願いする文書（完全退勤時刻〈小学校午後７時 中学校午後８時〉、週１回以上定時退勤日等）も配付（１１/１～試行期間として実施）。
- ・ 市教研主催の事業（小学校陸上記録会、小中学校音楽会）の削減。
- ・ 通知表の総合所見を通年として、３学期に文章で記述。また、小学校外国語活動（３，４年生）と小中学校特別の教科道徳、総合的な学習の時間についても通年の評価として、３学期に文章で評価。
- ・ 留守番電話の設置、用務員及びメール便配達員の配置を要望中。

視点２ 自校での取組

- ・ 児童の登校時の検温担当者は、出勤時刻が早いため、退勤時刻も早くした。サーモカメラによる対応で、担当職員数を減らした。
- ・ Googleフォームを活用したアンケート集計の実施。
- ・ 日直業務の削減（朝は、昇降口の解錠のみ。担当者による戸締まりの確認。）
- ・ 小規模校における学年だよりの廃止。
- ・ 看護日誌への記載は、週に１～２日程度とした。
- ・ 学校サポーターの活用による消毒作業。
- ・ ボランティアの活用（花壇の手入れ、苗植え、除草、生け垣の手入れ、登下校の見守り等）
- ・ 下校時刻を早めるために、週時程、年間指導計画の見直しを行った。
- ・ 日課表の変更（部活動終了時刻の繰り上げによる事務時間の確保）
- ・ 月１回、プレミアムデー（定時退勤日）を設定する。（実施可能な日を月ごとに設定）
- ・ コロナ禍で縮小した行事は、そのままに。
- ・ 行事の削減（マラソン大会を体育の時間で実施）
- ・ 朝会や集会等は、リモートで実施（時間短縮）
- ・ 職員集会等の際に、働き方改革について周知したり情報を提供したりしている。
- ・ 会計システムの変更（修学旅行集金・会計報告等を業者に委託）
- ・ 複数顧問制の確立（５教科担当教員の負担軽減）
- ・ 部活動の外部指導者の確保をお願いしたい。

視点３ 次年度に取り組みたいテーマ

- ・ 部活動の取組について（複数顧問制の充実、部活動の削減や統一等）
- ・ 小学校５時間授業の実施に向けた取組について
- ・ 効果的で実践可能な働き方改革への取組について